

プレミア株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

2025年4月30日

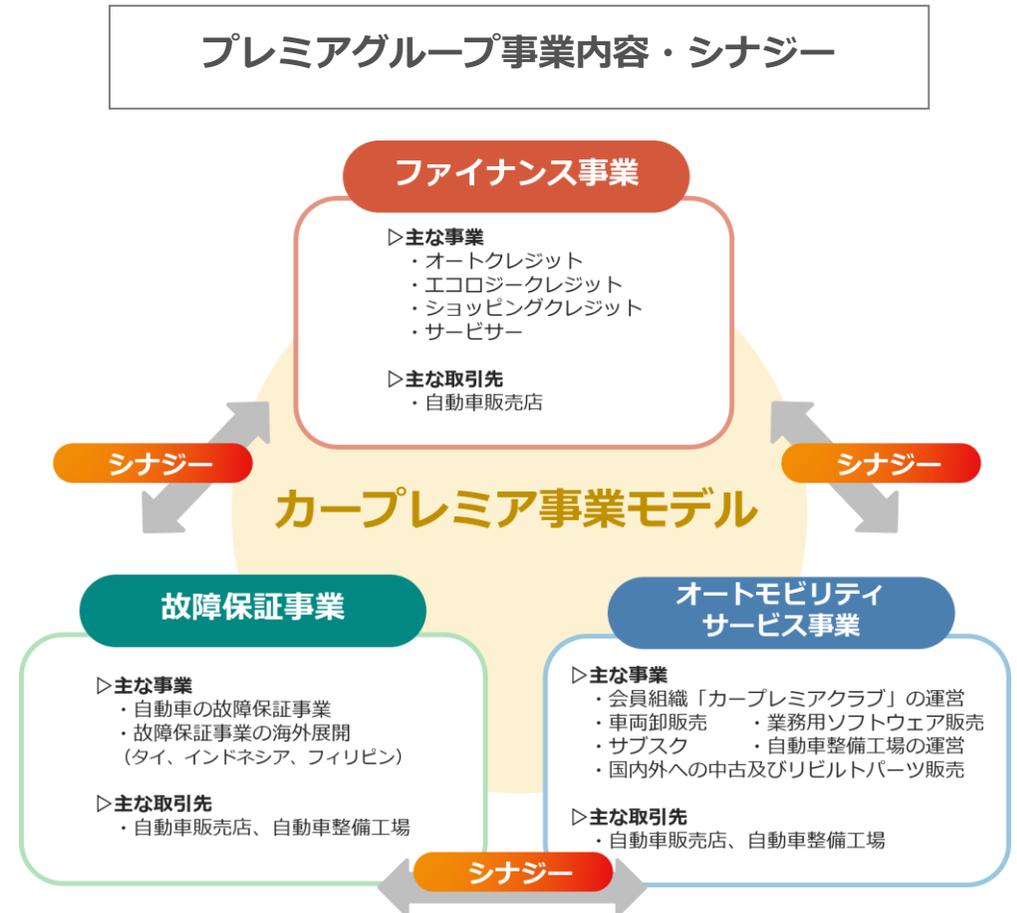
当社概要

- ・ プレミア株式会社は東京都港区に本社を置き、主にファイナンス事業（自動車の購入の際に購入者が分割払いができるサービスに対するクレジットを提供）を展開しています
- ・ 当社グループでは、ファイナンス事業のほか、故障保証事業、オートモビリティサービス事業（自動車卸売および自動車修理等）を展開しています

当社概要

社名	プレミア株式会社
所在地	東京都港区
設立	2007年7月
資本金	1,515百万円
事業内容	オートクレジットを中心としたファイナンス事業及び各種サービスの提供
売上高	173億円（2024年3月期）
グループ	プレミアグループ株式会社（親会社） プレミアワランティサービス株式会社（兄弟会社） プレミアモビリティサービス株式会社（兄弟会社） 他

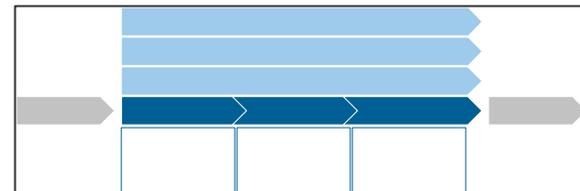
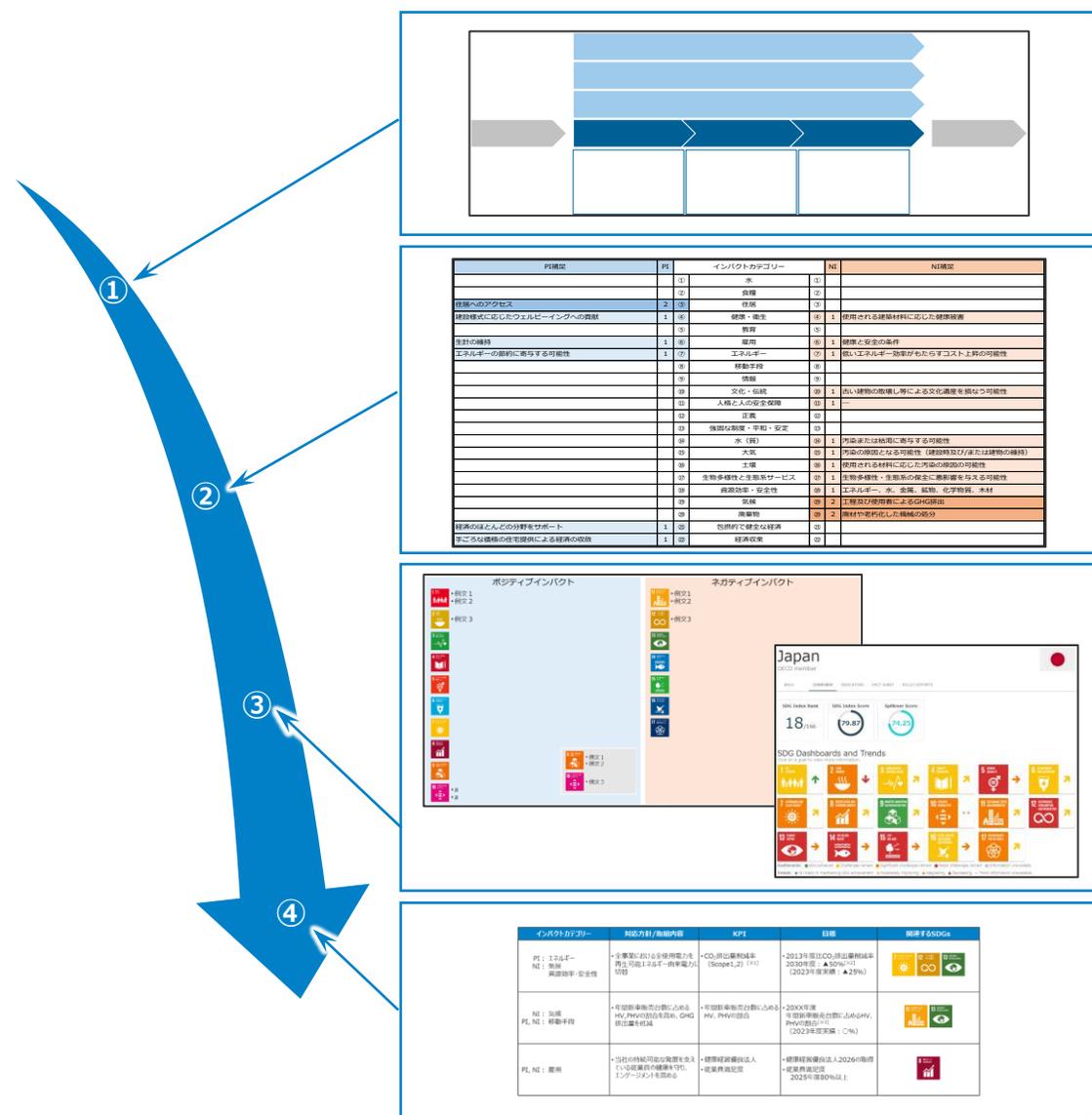
プレミアグループ事業内容・シナジー



インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社のインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました

工程	内容
① バリューチェーン分析	当該事業が経済的価値を創出するに至るプロセス（製品・サービスの構想、製造、提供、消費等）を特定します。
② インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的に想定されるポジティブ／ネガティブインパクトを確認します。
③ インパクトの特定	上記①②及びヒアリング結果等から当該事業のインパクトを特定の上、SDGs等社会的な要請との整合を確認します。
④ KPI・目標の設定	ポジティブインパクトが増大する、あるいはネガティブインパクトが抑制されるようなKPIと目標を設定します。



IP項目	IP	インパクトカテゴリー	NI	NI項目
	01	水	01	
	02	森林	02	
	03	漁業	03	
建設プロセス	2	建設	04	
建設プロセスに応じたワエルビーイングへの貢献	1	健康・衛生	05	使用される建築材料に応じた健康被害
	06	教育	06	
雇用の維持	1	雇用	08	健康と安全の案件
土壌の手順に適合する可能性	1	エネルギー	09	新しいエネルギー源がもたらすコスト上昇の可能性
	09	研究開発	09	
	09	文化、伝統	11	古い建築物の取壊し等による文化遺産を損なう可能性
	12	人権と労働者の安全健康	08	
	12	気候	13	
	13	強固な制度・早期・安定	09	
	09	水（質）	06	汚染または枯渇に由来する可能性
	09	大気	07	汚染の原因となる可能性（建設時及び/または建築物の維持）
	09	土壌	05	使用される材料に応じた汚染の可能性
	09	生物多様性と生態系サービス	15	生物多様性・生態系の健全な回復を促せる可能性
	09	資源効率・安全性	12	エネルギー、水、気候、廃物、化学物質、木材
	09	気候	13	工程及び設備等による気候排出
	09	廃棄物	12	廃材や再利用した廃材の処分
経済のほとんどの分野をサポート	1	世界的に健全な経済	08	
デジタル技術の住宅提供による経済の回復	1	経済成長	08	



インパクトカテゴリー	対応方針/活動内容	KPI	目標	関連するSDGs
水：エネルギー 水：気候 資源効率・安全性	・事業場における水使用量を削減 再生可能なエネルギー利用率を向上 削減	・CO ₂ 排出削減率 (Scope 1, 2) (%)	・2023年度CO ₂ 排出削減率 2020年度比 ▲50% (-) (2023年度実績 ▲25%)	6, 7, 13, 14
NI：気候 PI, NI：労働手段	・年間労働力削減に由来する NI, PIの削減、CHP 排出量の削減	・年間労働力削減率 NI, PIの削減	・2020年度 年間労働力削減率に占める NI, PIの削減率 (2023年度実績 ▲0%)	8, 9, 13
PI, NI：雇用	・社内の雇用可能な労働者を インクルードする取組	・雇用継続率 ・従業員満足度	・雇用継続率 ・従業員満足度 2023年度実績	8

バリューチェーン分析 (当社グループ事業：ファイナンス事業)

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、ファイナンス事業、故障保証事業・オートモビリティサービス事業をバリューチェーン*分析の対象としました
- 当該ページはファイナンス事業のバリューチェーン分析結果を示しています
 - *当社グループおよび川上の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ

当社グループ事業：ファイナンス事業

経営戦略： 有料会員の取扱拡大、DX推進による業務効率化の推進、
事業間シナジー効果の最大化

人財育成： 階層別研修、ダイバーシティ推進、健康経営優良法人認定 等

信用調査

信用供与

債権管理

カスタマー
サポート

- AIによる自動審査の導入による審査結果の短期取得
- 信用調査機能にて顧客の支払意思、支払能力を調査

- 信用調査結果に基づき信用供与

- 分割払い代金の請求と回収
- 延滞債権の督促と回収業務、法的回収手続き、貸倒償却処理やバルク等

- 顧客からの問い合わせ、緊急対応、各種手続き等の顧客サポート

バリューチェーン分析 (当社グループ事業：故障保証事業・オートモビリティサービス事業)

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、ファイナンス事業、故障保証事業・オートモビリティサービス事業をバリューチェーン分析の対象としました
- 当該ページは故障保証事業・オートモビリティサービス事業のバリューチェーン分析結果を示しています
- 故障保証事業・オートモビリティサービス事業における取扱商品を製造する自動車製造業を川上として整理しています

川上

自動車製造業
(取扱商品製造)

当社グループ事業：故障保証事業・オートモビリティサービス事業

経営戦略：自動車購入支援メニュー企画・開発、加盟店拡大、事業間シナジー効果の最大化

人財育成：階層別研修、ダイバーシティ推進、健康経営優良法人認定等

仕入代行・卸売

自動車販売
(故障保証)

自動車整備

買取・解体

- カープレミアクラブ加盟店向け“自動車仕入れサポート”の提供
- 買取車両の卸売

- 加盟店による自動車販売
- 自動車購入者へファイナンス提供（ファイナンス事業と連携）
- 当社ファイナンス利用者への故障保証付帯

- 加盟店及び自社整備工場による自動車の定期点検、車検、修理、整備、钣金等
- 解体により発生した中古パーツの活用

- 買取車両の加盟店への転売
- 中古パーツの取得・販売・再利用（自動車整備に活用）

インパクトマッピング (川上：自動車製造業)

- ・ 特定した川上の事業分野について、国際標準産業分類 (ISIC) における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上：自動車製造業

⇒ ISIC：2910 自動車製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー	NI	NI補足
		① 水	① 2	水の大量消費
		② 食糧	②	
		③ 住居	③	
		④ 健康・衛生	④ 2	大気汚染の主な原因のひとつ
		⑤ 教育	⑤	
生計の維持	1	⑥ 雇用	⑥ 1	健康と安全の条件
		⑦ エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセス	2	⑧ 移動手段	⑧ 1	悪影響の少ない他の移動手段の利用減少
		⑨ 情報	⑨	
		⑩ 文化・伝統	⑩	
		⑪ 人格と人の安全保障	⑪	
		⑫ 正義	⑫	
		⑬ 強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭ 水 (質)	⑭ 1	汚染の一因となる可能性
		⑮ 大気	⑮ 1	汚染の一因となる可能性
		⑯ 土壌	⑯ 1	汚染の一因となる可能性
		⑰ 生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱ 資源効率・安全性	⑱ 2	エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
		⑲ 気候	⑲ 2	GHG排出
		⑳ 廃棄物	⑳ 1	工程、老朽化した設備、最終消費者による廃棄物
健全な経済を支える製造業	1	㉑ 包摂的で健全な経済	㉑	
人々の移動が経済収束に貢献	1	㉒ 経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：ファイナンス事業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：ファイナンス事業

⇒ ISIC：64435 自動車ローン

PI補足	PI	インパクトカテゴリー	NI	NI補足
		① 水	①	
		② 食糧	②	
		③ 住居	③	
		④ 健康・衛生	④	
		⑤ 教育	⑤	
コンシューマーバンキングの仕事	1	⑥ 雇用	⑥	
		⑦ エネルギー	⑦	
交通アクセスへの貢献	1	⑧ 移動手段	⑧	
		⑨ 情報	⑨	
		⑩ 文化・伝統	⑩	
		⑪ 人格と人の安全保障	⑪	
		⑫ 正義	⑫	
		⑬ 強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭ 水（質）	⑭	
		⑮ 大気	⑮	
		⑯ 土壌	⑯	
		⑰ 生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱ 資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー集約型製品
		⑲ 気候	⑲	1 排出量
		⑳ 廃棄物	⑳	
		㉑ 包摂的で健全な経済	㉑	1 債務超過の危険性
		㉒ 経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：故障保証事業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：故障保証事業

⇒ ISIC：9609 他に分類されないその他の個人向けサービス業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	⑳	1 事業に伴う廃棄物
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：オートモビリティサービス事業① 自動車卸売)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：オートモビリティサービス事業① 自動車卸売

⇒ ISIC：4510 自動車販売業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー	NI	NI補足
		① 水	①	
		② 食糧	②	
		③ 住居	③	
		④ 健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤ 教育	⑤	
生計の維持	1	⑥ 雇用	⑥	1 労働条件
		⑦ エネルギー	⑦	
移動へのアクセスに貢献	2	⑧ 移動手段	⑧	
		⑨ 情報	⑨	
		⑩ 文化・伝統	⑩	
		⑪ 人格と人の安全保障	⑪	
		⑫ 正義	⑫	
		⑬ 強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭ 水（質）	⑭	
		⑮ 大気	⑮	1 自動車輸送に伴う大気汚染
		⑯ 土壌	⑯	
		⑰ 生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱ 資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー（車両および倉庫用）
		⑲ 気候	⑲	1 輸送・倉庫に関連するGHG排出量
		⑳ 廃棄物	⑳	1 梱包
		㉑ 包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒ 経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：オートモビリティサービス事業② 自動車修理)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：オートモビリティサービス事業② 自動車修理

⇒ ISIC：4520 自動車整備・修理業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー	NI	NI補足
		① 水	①	
		② 食糧	②	
		③ 住居	③	
		④ 健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤ 教育	⑤	
生計の維持	1	⑥ 雇用	⑥	1 労働条件
		⑦ エネルギー	⑦	
移動へのアクセスに貢献	2	⑧ 移動手段	⑧	
		⑨ 情報	⑨	
		⑩ 文化・伝統	⑩	
		⑪ 人格と人の安全保障	⑪	
		⑫ 正義	⑫	
		⑬ 強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭ 水（質）	⑭	
		⑮ 大気	⑮	
		⑯ 土壌	⑯	1 廃油などによる汚染
		⑰ 生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱ 資源効率・安全性	⑱	
		⑲ 気候	⑲	
		⑳ 廃棄物	㉑	1 廃油およびその他の化学薬品
		㉑ 包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒ 経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

インパクトカテゴリー	川上		当社グループ事業									
	自動車製造業		自動車ローン		故障保証事業 他に分類されないその他の 個人向けサービス業		自動車販売業		自動車整備・修理業			
	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI		
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	①	水		2								
	②	食糧										
	③	住居										
	④	健康・衛生		2						1		1
	⑤	教育										
	⑥	雇用	1	1	1		1	1	1	1	1	1
	⑦	エネルギー										
	⑧	移動手段	2	1	1				2		2	
	⑨	情報										
	⑩	文化・伝統										
	⑪	人格と人の安全保障										
	⑫	正義										
	⑬	強固な制度・平和・安定										
環境 質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭	水（質）		1								
	⑮	大気		1						1		
	⑯	土壌		1								1
	⑰	生物多様性と生態系サービス										
	⑱	資源効率・安全性		2		1				1		
	⑲	気候		2		1				1		
	⑳	廃棄物		1				1		1		1
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済	1			1						
	㉒	経済収束	1									

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

SDGsとの関連性 (川上：自動車製造業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

川上：自動車製造業

⇒ ISIC：2910 自動車製造業

ポジティブインパクト



• 人々の移動が経済収束に貢献



• 健全な経済を支える製造業



• 生計の維持
• 健全な経済を支える製造業



• モビリティへのアクセス



• 人々の移動が経済収束に貢献

ネガティブインパクト



• 大気汚染の主な原因のひとつ



• 水の大量消費
• 汚染の一因となる可能性



• エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品



• 健康と安全の条件



• 悪影響の少ない他の移動手段の利用減少



• エネルギー、水、金属、鉱物、化学品/化学製品
• 工程、老朽化した設備、最終消費者による廃棄物



• GHG排出



• 汚染の一因となる可能性

SDGsとの関連性 (当社グループ事業：ファイナンス事業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：ファイナンス事業

⇒ ISIC：64435 自動車ローン

ポジティブインパクト



• コンシューマーバンキングの仕事



• 交通アクセスへの貢献

ネガティブインパクト



• 債務超過の危険性



• エネルギー集約型製品



• 債務超過の危険性



• エネルギー集約型製品



• 排出量

SDGsとの関連性 (当社グループ事業：故障保証事業)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：故障保証事業

⇒ ISIC：9609 他に分類されないその他の個人向けサービス業

ポジティブインパクト



・生計の維持

ネガティブインパクト



・健康と安全の条件



・事業に伴う廃棄物

SDGsとの関連性 (当社グループ事業：オートモビリティサービス事業① 自動車卸売)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：オートモビリティサービス事業① 自動車卸売

⇒ ISIC：4510 自動車販売業

ポジティブインパクト



・生計の維持



・移動へのアクセスに貢献

ネガティブインパクト



- ・交通安全
- ・自動車輸送に伴う大気汚染



・エネルギー（車両および倉庫用）



・労働条件



- ・エネルギー（車両および倉庫用）
- ・梱包



・輸送・倉庫に関連するGHG排出量

SDGsとの関連性 (当社グループ事業：オートモビリティサービス事業② 自動車修理)

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：オートモビリティサービス事業② 自動車修理

⇒ ISIC：4520 自動車整備・修理業

ポジティブインパクト



・生計の維持



・移動へのアクセスに貢献

ネガティブインパクト



・交通安全



・労働条件



・廃油およびその他の化学薬品



・廃油などによる汚染

KPI・目標の設定について

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるマテリアリティならびにサステナビリティ基本方針等との整合性を踏まえ、KPI・目標を以下のように選択し、設定しました
- 目標に対する実績の進捗、新たな目標値の設定については年次モニタリングで確認します

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
NI: 包摂的で健全な経済 PI,NI: 移動手段	<ul style="list-style-type: none"> •ファイナンス事業において展開する中古車の利用促進 •自動車に関するリデュース、リサイクル、リユース、リペアの推進 	<ul style="list-style-type: none"> •オートクレジット債権残高※1 •故障保証累計契約台数※1 	<ul style="list-style-type: none"> •2026年3月期 オートクレジット債権残高 •2026年3月期 故障保証累計契約台数 	
NI: 気候	<ul style="list-style-type: none"> •EV専用故障保証 •カーシェアクラブ会員店舗を利用した、太陽光発電システムとEV充電設備の設置 •EV充電ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> •GHG排出量 (Scope1,2) ※2 	<ul style="list-style-type: none"> •GHG排出量 (Scope1,2) 2035年3月期 ▲58.8% (2024年3月期比) 	
PI,NI: 雇用	<ul style="list-style-type: none"> •行動規範 •Well-beingの向上 •組織改革 •女性・若手従業員の管理職登用 •人財育成の内製化 	<ul style="list-style-type: none"> •女性管理職比率 •外国人従業員比率※3 	<ul style="list-style-type: none"> •女性管理職比率 2026年3月期 25%以上 •外国人従業員比率 2026年3月期 15% 	

(凡例) PI : ポジティブインパクトの拡大、NI : ネガティブインパクトの抑制

※1 目標数値については、競争上の配慮から一般公表を行わないものとしています

※2 Scope3の算定範囲拡大に向けた取組み、目標値の設定については年次モニタリングで確認します

※3 持分法適用関連会社を含みます

なお、※1,2の2025年3月期実績は年次モニタリング時に確認します



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。